

デザイン、機能性を兼ね備えたユニットバス バス、トイレ分離で賃料アップ

アサヒ衛陶

水回り設備メーカー

のアサヒ衛陶(大阪市)は省スペースでデザイン性を兼ね備えたユニットバス「PICCOLASANITARY UNIT(ピッコラサニタリーユニット)」を販売している。9月現在、2戸の新築マンションと1戸のリノベーション物件で導入されている。問い合わせ

わけも多く、今後も着工数が伸びる予定だ。

ユニットバス内のト

イレ・洗面とシャワーバスの中に仕切り戸を設けて空間を分離する。洗面には収納棚やコンセントを設置。シャワーパネルはターク調とマール調から選べる。空間を分離することで、従来の3点式ユニットバスで課題となっていた床が水でぬれてしまう点やコン

セントの設置ができ、ない点を解決した。東京都内で約600棟の賃貸住宅

料アップの実績があれば、賃貸オーナーにも順次提案していく予定だ。



▶ユニットバス内に、収納や温水便座がついて